

天照大御神様の
ご神札をお祀り
しましう

氏子の皆様に於かれましては、神社のことに、ご理解ご協力を戴き感謝申し上げます。

先般来より皆様に、お願いを申し上げております、平成二十五年に行われる伊勢の神宮の遷宮に際しての奉賛金は、現在、目標金額の三分の一が集まっており、これ偏に神宮に対する崇敬が篤いことと存じ、有難く感謝申し上げます。

新年には新しいお神札に替えましよう

新しい年を迎えるにあたり、神棚をきれいに清掃して、新たに神社から受けたお神札を神棚にお祀りします。

神社から受ける神宮大麻、氏神様のお神札、台所にお祀りする竈神様のお神札などがあります。年の区切りにあたるこの時期に、神社から新しいお神札を受けることにより、御神霊の力、みたまのちから頼を戴き、新しい年も家内が無事でありますように祈念し、お祀りします。今年は特別に神宮様から簡易神棚を頂いており、神棚がない家庭に神宮大麻を一体お受け戴ける方は、限定一〇〇字を無料で差し上げます。社務所で十二月からお渡しいたします。



伊勢の神宮から頂いた簡易神棚です。神棚をお持ちでない家庭で「天照皇大神宮」ご神札をお受け頂いた方には100字限定で差し上げます

伊勢の神宮と氏神さま

伊勢の神宮は一般的に「お伊勢さま」「大神宮さま」と呼ばれていますが、正式には「神宮」と称し、我々日本人の心のふるさととして古くから親しまれて参りました。

「伊勢の神宮」とは、天照大御神あまてらすおおみかみを祀る皇大神宮こうたいじんぐう(内宮)と豊受大御神とようけのおおみかみを祀る豊受大神宮とようけだいじんぐう(外宮)の両宮をはじめとして、別宮・摂社・末社・所管社合わせて百二十五社を総称していいます。その中でも内宮の御祭神である天照大御神は皇室の御祖神みおやがみとして貴い御存在であるとともに、常に我々国民をお守り下さっている日本の総氏神様であり、全国で約八万社ある

神社の中でもその根本となるお社です。しかし神社の場合、寺院などに見られるような本山末寺といった上下の地位を表す関係はありません。神道の祝詞の中で古い形態を残す「大祓詞おほらいことば」の内容は、八百万の神々が集まり、話し合いを重ねた結果、皇孫こうそんに豊葦原とよあしはらの瑞穂みずほの国(日本の国)を安らかな国として治めるようにと御委任なされたことが記され、天孫降臨(天照大御神の命を受けた皇孫の瓊瓊杵尊にぎのひこ)が、多くの神々を随え、高天原から日向の高千穂峯に天降られたこと)に際して国つ神である。大国主命が天照大御神の御子孫に国を譲り渡したように、多くの神々との関係においても、それぞれの神々の立場が尊重され、話し合いの精神を以て諸事が決せられていたことが分かります。こうした考え方は現在の私たちにも受け継がれている我が国の美風とも言つべきことです。

この神々の関係は神社についても同様にいえることで、現在、全国の神社の多くは神社本庁のもと、各神社ごとにそれぞれの神々を祀り、お祭りが厳粛に行われるように勤めており、神社界全体として伊勢の神宮を始め、全国の神社の振興を図るための諸活動がなされています。この事からも、伊勢の神宮を格別なる御存在として神社本庁が特に本ほん宗しゅうと仰いでいるのは、全国神社の総意に基づくことといえましよう。

すやま通信

〒844-0004 佐賀県有田町大樽 2-5-1
陶山神社 社務所
☎0955(42)3310 FAX (42)3317
年2回 5500 部発行



陶山社古木「犬槇」佐賀県銘木指定 38174号 深川 巖

陶山神社古木「犬槇」佐賀県銘木指定38174号 スケッチ 深川 巖氏



挨拶

二度目の神事町を迎えて
神事町四区実行委員長 田代正昭

本号は、お供日の号外号としました。巻頭イラストは深川巖(深川製磁(株)相談役・芸術室長)さんに描いて頂きました。今回は陶山神社境内にある、幾星霜を経た力強い姿の推定樹齢二〇〇年のイヌマキを、描いて頂きました。この樹木にあやかり頑張りたいと思います。感謝申し上げます。

実りの秋を迎え、今年もまた十年ぶりに神事町の当番区が廻って来ました。注連元に四区区長渋谷日出実様が、実行委員長の大役を私が引き受けることになりました。本番に向けて粗相のないようにと、区民の皆様の後押しを受けながら猛練習に取り組んでいます。思い起こせば十年前、個々のお花を廃止する代わりに、各区より三〇万円の拠出金を出すよと云う申し合わせがされ、全区長さん連名で決定しました。今思えば、その時のパレードは寂しいものであったと記憶しております。次の年の当番区からは、「拠出金三〇万円は、雨の時の御花に当てる」とのこと、元に逆戻りしてしまいました。貧乏くじを引いたのは四区であり、その事が区民の感情として残っており、完全に消極的であったことを、ご理解頂きますようお願い致します。当番区を引き受けたからには、祭りを盛大にする責任があり、区民一体となり自覚を持って取り組み、出場者約三〇〇名は、「四区なりの祭りをする」と頑張っております。お祭りは、楽しく賑やかにしてこそ意義があり、家内安全・商売繁盛・五穀豊穰を神様に願い、感謝することにより、人の心を豊かにして区民の融和が深まると思えます。特に現在、業も農業も不振です。祭りよって、日本の伝統文化の更なる発展と、我々の思いが通じ、この地域が、この町が少しずつでも良くなることを念じつつ、道踊り・所望踊りに精一杯頑張つて努めさせて頂きます。町民の皆様のご支援ご協力を宜しくお願い致します。

平成21年度 10月16日お供日「おみこし」巡幸のご案内

祭典 午前8時30分 出御祭 陶山神社神殿・写真撮影
午前9時30分～午後4時45分 各神社へ巡幸
午後5時00分 還御祭 陶山神社神殿

Table with 5 columns: 順番 (Order), 場所 (Location), 到着時間 (Arrival Time), 滞在時間 (Stay Time), 出発時間 (Departure Time). It lists 29 stops for the festival procession, including locations like 陶山神社, 上幸平, 泉山, etc.

◎なお、当日、雨天の場合は、「おみこし」の巡幸を中止して、雨儀祭典のみ行います。
◎雨儀祭典時間、陶山神社 9時 南川良天満宮 10時 椎谷神社 11時
神事町 注連元区長 渋谷日出実
神事町 実行委員長 田代正昭
神事町 御供町五区区長 大宅洋二郎

◎出御祭(しゅつぎょ) 午前8時30分 ご神殿からご分霊をお神輿に移します
◎ご巡幸(じゅんこう) 午前9時30分～16時45分 氏子・崇敬者の処に神様が巡幸され町内の繁盛と家内安全を祈ります、どうぞ皆様お参り下さい。
◎還御祭(かんぎょ) 午後17時 お神輿からご神殿にご分霊がお帰りになります。
◎17日は「皿山祭り」に有田焼工業組合の有志により有田焼繁盛を願って神輿担ぎが行われます。



10月16日 お供日 おみこし巡幸コース

有田町四区祭礼実行委員会
注連元兼祭礼委員長 四区区長 渋谷日出実
氏子総代 責任役員 松尾 正道
氏子総代 岸川 茂 松尾 斉 瀬戸口 清 下野 留次
実行委員長 田代 正昭
実行委員 岸川 松雄 太田 光彦 松村 徳文 原田 義典 樋口善一郎 川口 英勝 岩永 孝 馬場 雅明
婦人部長 田代 優子
婦人副部長 中山 百百江 勝野 文恵 鬼丸 幸子 岸川 マサヨ
戸矢浮立代表 松村 徳文
境野・古木場浮立代表 松尾 斉
有田大野太鼓代表 森永 美智也
事務局長兼会計 吉永 茂雄

有田町4区「おくんち」踊り連 行動予定
秋冷の候、区民の皆様には益々ご清祥の事とお慶び申し上げます
各区の区長様始め、区民の皆様には、お供日及び皿山祭りには、多額の助成金のご支援をいただき誠にありがとうございました。
就きましては、16日の陶山神社奉納踊りの後、下記の予定で、女性部の所望踊り、大野太鼓の所望太鼓を予定いたしております。皆様ご支援の程をお願い申し上げます。
4区注連元 渋谷 日出実 実行委員長 田代 正昭

10月16日(金)
奉納踊り 陶山神社 (9時) 南川原天満宮 (9時20分) 椎谷神社 (9時35分)
道踊り 内山地区 中の原～泉山 9時45分～
所望踊り 泉山・中樽 (11:00)～ 上幸平・大樽 (11:30)～
商会議所(12:00)～ 有田町東庁舎 (12:00)～
幸平・白川 (12:30)～ 稗古場 (13:00)～
赤絵町 (13:30)～ 中の原 (14:30)～
岩谷川内 (15:00)～ 三代橋 (14:00)～
赤坂団地 (15:00)～ 南山 (16:00)～
外尾山・丸尾 (16:00)～ 黒牟田・応法 (16:30)～

10月17日(土)
所望踊り 戸杓・南原・本町 (16:00)～

参加総勢300名真心込めて頑張ります
※上記の時刻は目安となりますので、時刻がずれる可能性があります ご了承いただき、ご支援のほどよろしくお願ひします。

